

施策番号 3-3-1	施策名 景観の保全とクリーンエネルギーの推進	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			
		政策名	自然と調和した生活環境の整備と環境の保全			
	主管課	住民生活課	課長名	杉山 ゆかり	内線	111
	施策関係課	建設都市整備課・企画財政課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
本町の豊かで美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効利用を進めます。		町民 町内の自然環境	環境への負荷を低減し、自然環境と景観を保全する					町民が住みやすい快適な生活環境を保全する	
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
① 芽室町の景観に満足している町民の割合	住民意識調査	%	78.0	74.8	75.6	80.0	80.0		
② 芽室町の自然環境(空気・水・土壌など)に満足している町民の割合	住民意識調査	%	79.2	84.9	80.9	80.0	80.0		
③ 芽室町内の太陽光発電の容量	企画財政課調べ	kW	899.0	13,842.0	15,006.0	3,000.0	3,000.0		
成果指標設定の考え方	① 町の美しい景観づくりに向けた活動を推進し、維持していくため、成果指標に設定。 ② 自然環境を保全・活用し、次世代に受け継いでいくため、成果指標に設定。 ③ 太陽光発電等の導入により、クリーンエネルギーを推進する必要があることから成果指標に設定。								

2. 施策の事業費

	27年度決算	28年度決算
施策事業費(千円)	18,560	14,685
人工数(業務量)	1.0344	0.5515

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成28年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は前年度とほぼ同じ→特段の理由はなし 成果指標②は前年度より低下→特段の理由はなし 成果指標③は前年度より上昇→町内施設等への新エネルギー設備の導入が主な要因
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①芽室町景観まちづくり基本方針案の熟度を高めていくことで、目標達成を目指す。 ②自然環境を守り、生活環境の整備と保全を図り、町民の環境配慮意識向上に努めることで、目標達成は可能。 ③大きな成果＝公共施設の新エネルギーの導入、住宅用太陽光発電システム導入費補助金の継続(平成29年度まで)、農業残渣燃料化の取り組みをすることにより、目標達成は可能。
(2) 施策の成果評価に対する平成28年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	新エネルギー推進事業 都市景観啓発・普及事業 環境調査業務委託事業 クリーンめむろ大作戦推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●クリーンエネルギーの推進→「芽室町地域新エネルギービジョン」、「芽室町地域新エネルギー重点ビジョン」を策定し、本町の特性に合った再生可能エネルギーや省エネルギーの導入につながった。 ●景観のまちづくりの推進→「芽室町緑の基本計画」、「芽室町公共サイン整備計画」に基づき、良好な景観の形成の促進を図った。 ●クリーンめむろ大作戦→「クリーンめむろ環境基本計画」に基づき、多くの町民が環境問題に関心を持ち、環境活動に参加した。また、環境基準の達成を維持するため、環境調査を継続実施した。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	≪施策を取り巻く状況≫ ・再生可能エネルギーの活用は更に重要性を増している。 ・地球温暖化やごみ問題など環境教育の重要性が高まっている。 ≪今後の予測≫ ・「芽室町緑の計画」に基づき、緑を守り、つくり、つなげていくため、計画を推進する。 ・景観のまちづくりを進めていくことで、自然と調和した生活環境の整備と保全が高まっていく。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	新エネルギーを活用したまちづくりを本格的に推進すべきという意見が一部の議員から寄せられている。

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

●課題① 新エネルギーの地域内循環 長いもネットの燃料化に向けて関係機関と連携を図り、平成31年度工場建設を目指し、制度設計を行う。 ●課題② 環境保全活動 「クリーンめむろ環境基本計画」に基づき、関係機関と連携を図り、環境活動を行う。計画の改訂に向けて調査を行う。 ●課題③ 景観のまちづくり 「芽室町公共サイン整備計画」に基づき、公共サインの整備を実施し、景観及び交通環境の向上を目指す。屋外広告物の適正な管理。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	次の点から前進していると評価する。 ●ビジョンに基づいたクリーンエネルギーの推進をしている。 ●計画を策定し良好な景観の形成の促進を図っている。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	●新エネルギーの地域内循環である長いもネットの燃料化の制度設計をすすめてもらいたい。 ●公共サインの整備を継続し景観及び交通環境の向上をすすめてもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	産業廃棄物の燃料化など、総体的に施策は前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	●住宅用太陽光発電システムの普及により、大規模施設による木の伐採など、景観が崩れているところが見受けられる。太陽光発電を指標とするは見直してはどうか。 ●芽室にどんな景観があり、何を守らなければならないのか、学ぶ機会があると良い。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					